

徳川家康・結城秀康 年表

1542(天文11)年	三河国、岡崎城主松平広忠の長男として誕生。
1566(永禄9)年	三河国を統一。松平姓を改め、徳川家康と名乗る。
1570(元亀元年)	金ヶ崎の退き口。姉川の戦いで参戦。
1572(元亀3)年	三方ヶ原の戦いで武田信玄に大敗を喫す。
1574(天正2)年	徳川家康の次男として誕生。 家康とは3歳になるまで1度も対面せず、本多重次と交流のあった中村家の屋敷で養育される。
1575(天正3)年	長篠の戦いで、織田信長と共に武田勝頼を破る。
1582(天正10)年	本能寺の変勃発。 織田信長の死後、伊賀越えし岡崎城に帰還。
1584(天正12)年	小牧・長久手の戦いにおいて豊臣軍と戦う。
1586(天正14)年	豊臣、徳川両軍による小牧・長久手の戦い後、講和の条件として豊臣家の養子となる。 秀吉の秀、家康の康の字をもらい、羽柴秀康と名乗る。
1587(天正15)年	上洛して豊臣秀吉に臣従。居城を駿府城へと移す。
1590(天正18)年	九州征伐にて初陣を飾る。
1590(天正18)年	小田原征伐に参戦。関東へ移封となり、江戸城へ入城。
1590(天正18)年	小田原征伐へ参陣。 結城家を継ぎ、10万1千石の大名となる。
1600(慶長5)年	関ヶ原の戦いで勝利。
1601(慶長6)年	徳川家康と共に、上杉景勝討伐へ出陣。 関ヶ原の戦いの際は宇都宮城に留まり、上杉景勝の抑えを務める。 戦後、越前に移封され、68万石に増される。
1601(慶長6)年	福井城の築城を開始する。
1603(慶長8)年	征夷大将軍に任命され、江戸幕府を開く。
1607(慶長12)年	福井城で病没。
1615(慶長20)年	大坂夏の陣で豊臣家を滅ぼす。
1616(元和2)年	駿府城にて病没。

越前ふくいを築いた

父と子 徳川家康 結城秀康

ゆかりの地

徳川家康の次男結城秀康は初代福井藩主。
家康と、秀康ゆかりの地を巡れば、
ふくいのまちがさらに魅力的に！

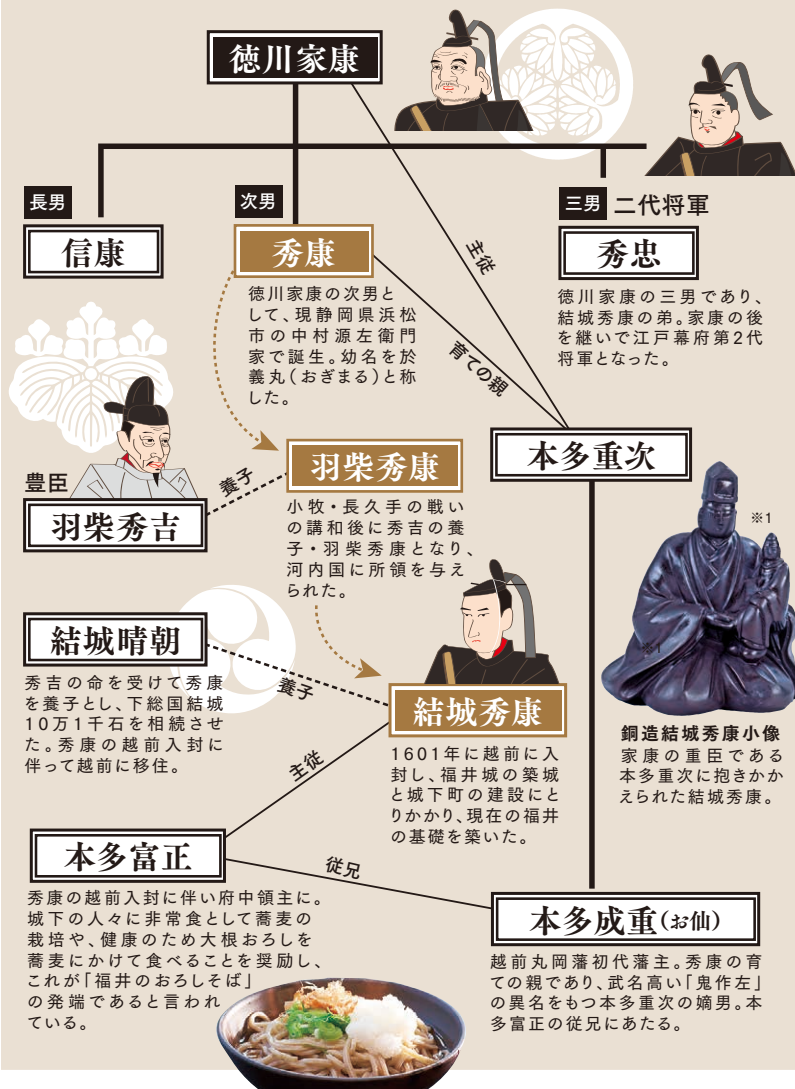


徳川家康・結城秀康
ゆかりのスポット情報

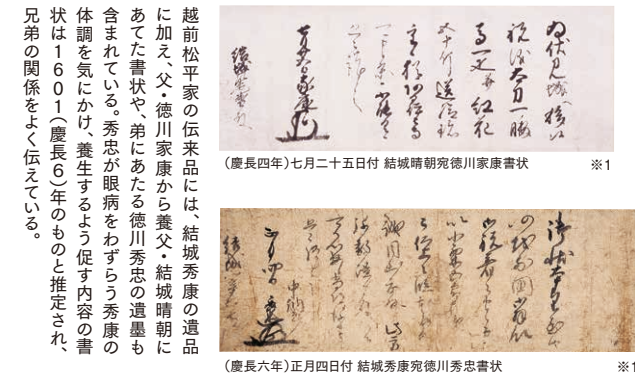
浄土宗 蓮正寺蔵 結城秀康像

※1 越英文庫 福井市立郷土歴史博物館保管

家康・秀康人物相関図



家康・秀康にまつわる品



福井市立郷土歴史博物館
「養浩館庭園」に隣接し、越前松平家に伝わる文物等が展示されている。スタンプラリーなどもあり、子どもたちも楽しく学ぶことができる。
●福井市宝永3-12-1 ☎0776-21-0489

アクセス ※2023年3月現在

東京から
●JR 北陸新幹線かがやき-北陸線特急→福井駅 約3時間20分
東海道新幹線ひかり-北陸線特急→福井駅 約3時間30分
●飛行機 羽田・成田-小松空港-連絡バス→福井駅東口 約2時間
●車 東名-名神-北陸自動車道→福井IC 約5時間30分

大阪から
●JR 特急サンダーバード→福井駅 約1時間50分
●車 名神-北陸自動車道→福井IC 約2時間40分

名古屋から
●JR 特急しらさぎ→福井駅 約2時間
●車 名神-北陸自動車道→福井IC 約2時間

【発行】福井県交流文化部文化・スポーツ局文化課 結城秀康 福井
福井県福井市大手3丁目17-1 ☎0776-20-0572 FAX 0776-20-0661 (令和5年 3月発行)



家康

天下を統一し泰平の世を築く。

家康と秀吉を父に持つ男。

関ヶ原の戦いの際、上杉景勝の抑えを務めた秀康の功績を認め、1601(慶長6)年、秀康に越前68万石を与えた。

秀康

武勇・智謀に恵まれ、不遇の時代を乗り越えて活躍。越前入封後、福井城の築城を成し遂げ、現在の福井の礎を築き上げる。

1 熊川宿 得法寺

熊川宿は若狹と京都を結ぶ鯖街道の宿場町であり、江戸時代には鯖街道最大の宿場町として栄えた。織田・徳川連合軍が越前朝倉攻めで京都から敦賀へ向かう際に一泊している。連合軍の徳川家康が得法寺に宿泊したといわれ、家康が腰掛けたと伝わる松の跡が境内に残る。

◆三方上中郡若狹町熊川33-26
☎ 0770-45-9111 (若狹町観光商工課)



2 佐柿国吉城址

若狹武田氏の重臣・粟屋勝久が築いた山城跡。信長が越前攻めの際に木下秀吉(豊臣秀吉)、徳川家康、明智光秀らを率いて入城して本陣とし、撤退の際にも通った。城の痕跡が良く残り、ふもとに若狹国吉城歴史資料館がある。

◆三方郡美浜町佐柿
☎ 0770-32-0050
(若狹国吉城歴史資料館)



福井城は家康自ら縄張りを行ったともいわれる。慶長年間の絵図から、南側を流れる足羽川を外堀として、四重の堀がめぐらされる壮大な城であったことがうかがえる。



7 福井城址

結城秀康が越前68万石の居城として1601(慶長6)年から築いた城で、石垣と堀の一部が現存する。近年本丸にかかる御廊下橋や山里口御門が復元され、市街地の随所で遺構が展示されている。

◆福井市大手3-17-1 ☎ 0776-20-0252 (福井県財産活用課)

3 妙顕寺

信長が金ヶ崎城攻めの際に、本陣をこの寺の内庭に置き、徳川家康らとともに宿泊したとされる。

◆敦賀市元町9-18 ☎ 0770-22-1342



4 天筒山城址・金ヶ崎城址

越前攻めで敦賀に侵攻した織田・徳川連合軍は、天筒山城を陥落したのち、金ヶ崎城の朝倉景恒に降伏を迫り城を接収した。この後の浅井氏の裏切りによる撤退戦は「金ヶ崎の退き口」と呼ばれる。現在、天筒山城址は、金ヶ崎公園として整備されている。

◆敦賀市金ヶ崎町1-4
☎ 0770-22-0938 (金ヶ崎宮社務所)



お市の『小豆袋』

お市の方が、両端をひもで結んだ小豆袋を兄の織田信長に届け、挟み撃ちの危険を知らせたとされる。金ヶ崎には両端を紐で結んだ袋の形をし、内にはお守りのほかに小豆一粒が入っている「難関突破守」がある。

◆敦賀市金ヶ崎町1-4 (金ヶ崎宮) ☎ 0770-22-0938



8 佐佳枝廼社 (さかえのやしろ)

徳川家康、福井藩祖の結城秀康、16代藩主・松平春嶽が主祭神。1873(明治6)年に秀康の偉業を称えてまつるにあたり、春嶽が佐佳枝廼社(さかえのやしろ)と命名した。

◆福井市大手3-12-3
☎ 0776-27-2754



9 養浩館庭園

結城秀康が祖である越前松平家の別邸であった回遊式林泉庭園で、池の上に浮かぶような建物が復元されている。巨大な自然石の石橋や笏谷石のつくばいなどは当時のまま残り、ゆっくりと散策しながら水と石が作る景観を楽しめる。

◆福井市宝永3-11-36
平日/☎ 0776-20-5367 (福井市文化振興課)
土日祝/☎ 0776-21-0489 (福井市立郷土歴史博物館)

10 大安禅寺

第4代福井藩主・松平光通が創建。福井藩主松平家の永代廟所(えいたいびょうじょ)で、境内からほど近い山中には、初代結城秀康をはじめ歴代藩主の墓が整然と並ぶ。その足元には1360枚もの笏谷石が敷き詰められており「千畳敷」と呼ばれる。墓石、欄、門扉に至るまで笏谷石が用いられ、荘厳な空気を醸しだしている。

◆福井市田ノ谷町21-4 ☎ 0776-59-1014



12 丸岡城

小牧・長久手の戦いの講和の際、人質となった秀康に臣従した本多成重が、後に丸岡城6代目城主となり越前丸岡藩初代藩主になった。丸岡城天守石垣のそばにある「一筆啓上火の用心お仙泣かすな馬肥やせ」碑文は、徳川家康の重臣・本多重次が陣中から妻に宛てて送った手紙として有名。文中のお仙とは重次の息子・仙千代で、本多成重の幼名。

◆坂井市丸岡町霞町1-59
☎ 0776-66-0303 (丸岡城管理事務所)



11 藤垣神社

結城秀康の家臣であり、府中領主でもあった本多富正がまつられている。富正は家中の万事を司った重臣として「万端の用心」とまで称された。神社には徳川家康や2代将軍秀忠の黒印状も残っている。

◆越前市本多3-3-3
☎ 0778-22-1127 (総社大神宮)



6 一乗谷朝倉氏遺跡

織田・徳川連合軍と戦いを繰り広げた朝倉氏が、5代103年間にわたって治めた戦国城下町。遺跡が国特別史跡、主要な4庭園が国特別名勝、遺跡出土品が国重要文化財に指定。遺跡内には当時の建物を一部復元した町並みがある。

◆福井市城戸ノ内町
☎ 0776-41-2330 (朝倉氏遺跡保存協会)



一乗谷朝倉氏遺跡博物館

遺跡の価値や魅力を楽しみながら学ぶことができる博物館。朝倉氏当主が暮らした館の原寸再現や、城下の町並みを30分の1のスケールで再現した巨大ジオラマに加え、掘り出したままの姿で展示されている石敷遺構など見どころ満載。

(2022年10月オープン)
◆福井市安波賀中島町8-10
☎ 0776-41-7700



5 木ノ芽峠・木ノ芽峠城

織田・徳川連合軍先陣の徳川家康が一乗谷へ攻め込む際に使おうとした峠。浅井氏の裏切りを聞き、引き返した。近江から越前へ通じる北陸道の要衝で、木ノ芽峠を挟んで木ノ芽峠城と観音丸城が築かれた。

◆南条郡南越前町板取
☎ 0778-47-8005
(南越前町教育委員会事務局)



13 大本山永平寺

1244(寛元2)年、道元禪師によって開かれた禅の修行道場。境内には結城秀康の母、お万の方の墓所がある。お万の方は秀康の越前入封に同行。孝顕寺に葬られ、永平寺に分骨された。

◆吉田郡永平寺町志比5-15
☎ 0776-63-3102



14 芝原用水

結城秀康が本多富正に命じ、上水道と城濠の水を確保するため九頭竜川から導水した。水田灌漑にも利用していたが、城下の武士や住民の飲料水にするのを第一にしていたので、「御上水(おじょうすい)」と呼ばれていた。

◆福井市宝永3-1-1



15 氣比神宮

702年建立と伝えられる。福井藩祖・結城秀康からの社領100石の寄進により、1614(慶長19)年に本殿が造営され再興する。

◆敦賀市曙町11-68 ☎ 0770-22-0794



ゆかりの地 MAP

